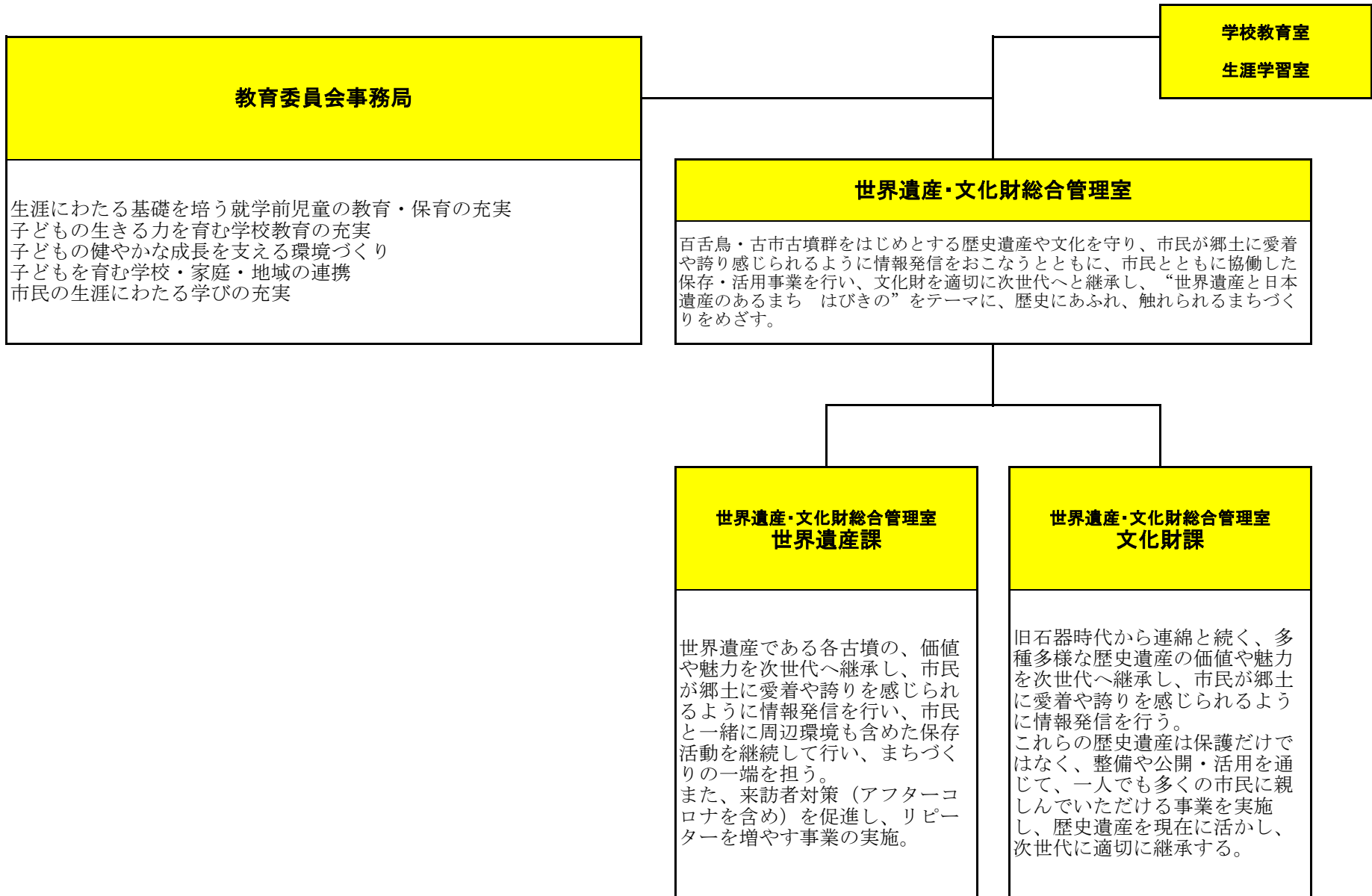


令和4年度 組織別設定目標【教育委員会事務局③】



令和4年度 組織目標設定シート

教育委員会事務局

方針	教育委員会事務局
○組織の基本方針等	生涯にわたる基礎を培う就学前児童の教育・保育の充実 子どもの生きる力を育む学校教育の充実 子どもの健やかな成長を支える環境づくり 子どもを育む学校・家庭・地域の連携 市民の生涯にわたる学びの充実
○組織の主要施策、事務事業	教育委員会の運営に関する事務 教育委員会事務局の総括事務 就学前教育・保育の充実 幼稚園における幼児教育での適正規模化 幼稚園等における安心・安全な施設運営 幼稚園から小学校への円滑な接続 安心・安全な学校園づくり 育ちと学びを一貫して支える特色ある学校園・地域づくり 信頼される学校づくり 豊かな心と健やかな体を育む学校園づくり 確かな学力を保証する学校園づくり 安心・安全な学校給食の計画・提供及び食育の促進 学校給食センターの運営に関すること 多様な学習機会の提供 文化活動の促進や活動拠点の環境整備 社会教育関係団体等との連携 スポーツ・レクリエーション活動を通じたスポーツの普及促進 図書館サービスの充実 生涯学習拠点施設の運営 世界文化遺産の保存・活用 文化財の調査・保存・活用
○重点目標項目	安心・安全な学校施設等の整備 学校プールのあり方と来年度に向けた水泳授業の方向性の検討 学校給食センターの新築移転に向けた関係課との協議・調整 中学校全員給食の実現に向けた検討 afterコロナ・withコロナ対策をふまえた各種イベント、団体運営等への対応 学校規模の適正化に向けた庁内会議での検討 藤井寺市と連携した「古市古墳群」の世界遺産価値のPR こどもえがお部との情報共有の強化と補助執行の整理 教育長をトップとした教育委員会事務局の組織確立と連携強化

令和4年度 組織目標設定シート

世界遺産・文化財総合管理室

室の方針	世界遺産・文化財総合管理室
○組織の基本方針等	百舌鳥・古市古墳群をはじめとする歴史遺産や文化を守り、市民が郷土に愛着や誇り感じられるように情報発信をおこなうとともに、市民とともに協働した保存・活用事業を行い、文化財を適切に次世代へと継承し、“世界遺産と日本遺産のあるまち はびきの”をテーマに、歴史にあふれ、触れられるまちづくりをめざす。
○組織の主要施策、事務事業	<p>世界遺産である「百舌鳥・古市古墳群」の保存・活用を図るとともに、価値や魅力を後世への伝えるための施策の実施</p> <hr/> <p>世界遺産である「百舌鳥・古市古墳群」を対象とした本市独自事業や関係団体との連携や事業推進</p> <hr/> <p>市内埋蔵文化財の発掘及びその後の保護と活用・公開</p> <hr/> <p>史跡の追加指定及び公有化と整備・管理・活用事業</p>
○重点目標項目	<p>来訪者受入のための環境整備（案内看板等の設置）</p> <hr/> <p>百舌鳥・古市古墳群の魅力発信（広報、情報発信）と保存・整備事業の充実</p> <hr/> <p>埋蔵文化財調査の適正実施（事前着工等の防止 学芸員の技術継承）</p> <hr/> <p>発掘資料等の整理</p> <hr/> <p>古市古墳群世界遺産連絡会議（2者連絡会議）の組織強化・充実</p>

令和4年度 組織目標設定シート

世界遺産・文化財総合管理室 世界遺産課

課の方針	世界遺産・文化財総合管理室 世界遺産課
○組織の基本方針等	<p>世界遺産である各古墳の、価値や魅力を次世代へ継承し、市民が郷土に愛着や誇りを感じられるように情報発信を行い、市民と一緒に周辺環境も含めた保存活動を継続して行い、まちづくりの一端を担う。</p> <p>また、来訪者対策（アフターコロナを含め）を促進し、リピーターを増やす事業の実施。</p>
○組織の主要施策、事務事業	<p>世界遺産である「百舌鳥・古市古墳群」の保存と活用を図り価値や魅力を広く市民に周知するとともに、後世へも適切に伝えるための施策を実施する。</p> <hr/> <p>「百舌鳥・古市古墳群」を対象とした事業</p> <hr/> <p>百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議（大阪府・堺市・羽曳野市・藤井寺市）による事業</p> <hr/> <p>「古市古墳群」を対象とした事業</p> <hr/> <p>古市古墳群世界遺産連絡会議（羽曳野市・藤井寺市）による事業</p> <hr/> <p>羽曳野市内に所在する「古市古墳群」を対象とした事業</p> <hr/> <p>羽曳野市独自による事業</p>
○重点目標項目	<p>百舌鳥・古市古墳群の魅力発信（古墳そのものの情報発信・開催イベントのPRや開催状況の発信）</p> <hr/> <p>来訪者受け入れのための環境整備（古墳の説明板、誘導看板の設置）</p> <hr/> <p>古市古墳群世界遺産連絡会議（2者連携会議）の組織強化・拡充</p>

令和4年度 組織目標設定シート

世界遺産・文化財総合管理室 文化財課

課の方針	世界遺産・文化財総合管理室 文化財課
○組織の基本方針等	<p>旧石器時代から連綿と続く、多種多様な歴史遺産の価値や魅力を次世代へ継承し、市民が郷土に愛着や誇りを感じられるように情報発信を行う。 これらの歴史遺産は保護だけではなく、整備や公開・活用を通じて、一人でも多くの市民に親しんでいただける事業を実施し、歴史遺産を現在に活かし、次世代に適切に継承する。</p>
○組織の主要施策、事務事業	<p>市内に点在する埋蔵文化財の発掘調査の実施</p> <hr/> <p>各種文化財の保護と活用・公開</p> <hr/> <p>史跡の追加指定及び公有化と整備・活用事業</p> <hr/> <p>市指定文化財となる資料の調査及び追加指定</p> <hr/> <p>埋蔵文化財の調査成果、歴史史料の普及・啓発事業</p> <hr/> <p>保管資料の適正管理</p>
○重点目標項目	<p>埋蔵文化財調査の適正実施（事前着工の防止、調査方法・技術の継承）</p> <hr/> <p>出土遺物及び保管資料の適正管理（整理した出土遺物について、「遺物管理システム」に入力して一元管理し、適正な場所に移動・保管する。）</p> <hr/> <p>公有化した史跡地等の巡回・監視を行い、史跡地としての適正な管理を行う。</p> <hr/> <p>市内の文化財の価値や魅力の周知、情報発信</p>